

第3節 廃棄物の適正処理

1 市が処理するごみの種類

市が処理するごみは、市民の日常生活に伴って各家庭から排出される「家庭系ごみ」（一般廃棄物）と、事業所の事業活動等に伴って排出される「事業系ごみ」のうち「事業系一般廃棄物」です。また、「事業系ごみ」のうち「産業廃棄物」の一部については、品目・数量等を制限して市が処理を行っています。

2 ごみ処理の流れ

家庭系ごみは、一部の市民が直接木更津市クリーンセンターへ持ち込むことがありますが、ほとんどが市による地域のごみ集積所（ごみステーション）への巡回収集となっています。また、事業系ごみは、事業者が一般廃棄物収集運搬許可業者に委託する場合と、クリーンセンターに直接持ち込む場合があります。

燃やせるごみは、君津地域広域廃棄物処理施設で熔融処理（中間処理）され、燃やせないごみ及び粗大ごみは、クリーンセンターで破碎・選別等の処理を行った後、鉄・アルミ・小型家電等有価物については資源化、残渣類については君津地域広域廃棄物処理施設で熔融処理しています。

資源ごみのうち、びん・かん・ペットボトル及び容器包装プラスチックは、民間のリサイクル処理（中間処理）施設で選別・圧縮・梱包処理され資源化します。また、紙類・衣類については、直接、資源物として取り引きしています。

君津地域広域廃棄物処理施設で熔融処理した後に発生する熔融飛灰は、県外の民間最終処分場で埋立処分しています。また、熔融処理により産出される熔融スラグ・熔融メタルについては、資源として有効活用しています。

○ 君津地域広域廃棄物処理施設について

君津地域4市（木更津市・君津市・富津市・袖ヶ浦市）で発生する一般廃棄物の中間処理を目的に、㈱かずさクリーンシステムを事業主体として設立された、第3セクター方式による広域一般廃棄物処理施設です。ダイオキシン類対策に優れた直接熔融システムを採用し、最終処分量を大幅に削減すると共に、熔融物（スラグ・メタル）は全量再資源化しています。

3 ごみ排出量

(1) ごみ種類別排出量

ごみの種類別排出量の推移をみると、ごみの総排出量は、平成26年度から平成30年度までは横ばい傾向にありましたが、台風15号・19号の影響による災害ごみの排出があり、令和元年度は平成30年度と比較して約5.3%の増加となっています。

ごみの種類別でみると、燃やせるごみの平成30年度排出量は平成26年度と比較して約4.4%の増加、燃やせないごみは約2.7%減少、資源ごみは約21.7%減少となっており、資源ごみの減少率が高くなっています。

前述のとおり、平成30年度と令和元年度を比較すると、燃やせるごみ・燃やせないごみ・粗大ごみの増加率が高くなっています。

表 5-3-1 ごみの種類別排出量の推移

(t)

区 分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
燃やせるごみ	45,072.55	45,877.27	46,315.64	46,104.38	47,051.66	49,084.21
燃やせないごみ	1,188.15	1,172.73	1,148.82	1,152.94	1,155.92	1,641.50
粗大ごみ	1,328.75	1,366.13	1,410.49	1,458.07	1,526.28	2,226.50
小動物	22.12	24.46	24.96	27.38	31.74	30.28
資源ごみ	6,795.26	6,305.52	5,857.21	5,602.50	5,318.95	5,217.26
資源ごみ集団回収	1,556.44	1,419.71	1,291.12	1,179.27	1,091.66	922.99
合 計	55,963.24	56,165.82	56,048.24	55,524.54	56,176.21	59,122.74
前年度比 (%)	0.79	0.36	△0.21	0.93	1.17	5.25

(2) ごみ排出源別 1人1日当たりのごみ排出量

本市の1人1日当たりのごみ排出量の推移は、家庭系ごみは平成26年度から平成30年度まで減少傾向にありましたが、平成30年度と比較して令和元年度は38グラム・約5.7%増加しています。事業系ごみは20グラム・約4.3%増加しています。平成29年度のデータですが、家庭系、事業系ともに県・国の平均を上回っています。

表 5-3-2 ごみ排出源別 1人1日当たりのごみ排出量の推移

(g/人・日)

区 分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	
家庭系	木更津市	710	694	684	667	667	705
	千葉県平均	677	665	654	646		—
	全国平均	668	668	646	641		—
事業系	木更津市	444	455	458	458	472	492
	千葉県平均	259	260	259	256		—
	全国平均	279	286	278	279		—
合 計	木更津市	1,153	1,149	1,142	1,125	1,138	1,198
	千葉県平均	936	925	913	902		—
	全国平均	947	954	924	920		—

* 家庭系ごみには資源ごみ集団回収量を含みます。

4 ごみ処理にかかる経費

本市のごみ処理にかかる経費は、令和元年度において年間で約28億円かかっています。市民1人が1年間に排出するごみに対して約2万円の経費がかかっていることになります。

表 5-3-3 ごみ処理にかかる経費の推移

(千円)

区 分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
収集運搬関係費	577,611	601,480	599,649	614,555	621,820	636,582
処理施設関係費	2,115,318	2,031,850	1,981,906	1,915,405	1,946,906	2,064,010
うち中間処理委託費	1,613,648	1,554,874	1,502,481	1,428,538	1,446,697	1,446,023
うち最終処分委託費	65,162	65,134	70,280	66,181	72,532	76,212
総務関係費	51,647	48,843	52,265	45,914	51,780	73,143
合 計	2,739,388	2,682,173	2,633,820	2,575,874	2,620,506	2,773,735
うち人件費	403,613	383,060	386,758	394,880	405,654	406,789
ごみ1t当たり経費	50,350円	48,993円	48,100円	47,398円	47,638円	50,424円
市民1人当たり経費	20,608円	20,028円	19,580円	19,046円	19,380円	20,513円